

# 消 防 学 校 だ よ り

## 平成 30 年 7 月・8 月号

発行年月日 平成 30 年 9 月 3 日

発 行 宮崎県消防学校

### ★ 救助科(6月28日(木)~7月26日(木))

6月末から始まった救助科においては、真夏日の続く中、基本救助技術訓練から特殊災害訓練、水難救助訓練等、各種技術の習得に励みました。

#### (基本訓練)

救助隊員は、多種多様な災害に対応するため、多くの資器材、技術を習得する必要がありますが、まずは、基本技術をしっかりと身につけておく事が大切です。

基礎のない高度な技術は事故につながるため、しっかりと基本技術の確認を行いました。



#### (高度救助資器材取り扱い訓練)

宮崎市北消防署東分署の高度救助隊が保有する資器材説明を受け、取り扱い訓練を実施しました。



(水難救助訓練)

延岡市消防本部のプール(水深 3m)にて、延岡市消防署の潜水隊指導の下、マスククリア、シュノーケル、フィンワーク等の基本技術習得や、立ち泳ぎ、遠泳等を実施しました。

長い海岸線、多くの河川を有する本県では、毎年、水難救助事案が発生しています。

正しい知識や、基本技術を習得し、人命救助を行う消防職員が事故なく活動できるよう、訓練を実施しました。



(航空隊連携訓練)

宮崎県防災救急航空隊が運行する あおぞら(代替機体) で航空隊との連携訓練を実施しました。

防災ヘリをはじめ、宮崎大学の運行するDr ヘリなど、消防の活動する現場での、ヘリとの連携は、現在では欠かせない事となっているため、ヘリの誘導などしっかりと訓練を実施しました。



## ★救急救命士追加講習

7月30日(月)から8月2日(木)、効果測定8月17日(金)で救急救命士追加講習がおこなわれました。

救急救命の処置拡大に伴い、習得しなければならない知識や技術が広がるなか、各学生、真剣に研修に取り組み、全学生が無事に追加講習を合格しました。



## ★平成30年度宮崎県消防操法大会

平成30年8月25日(土)、平成30年度宮崎県消防操法大会が消防学校にて行われました。

各支部大会を優秀な成績で突破した消防団員が、各地元から駆けつけた応援団の熱い声援のなか、訓練の成果を十分に発揮しました。



## ★初任科生 県外研修

8月29日(水)～31日(金)において、東京都内での県外研修を実施しました。

総務省消防庁、東京消防庁第6消防方面本部消防救助機動部隊、東京消防庁消防防災資料センター(消防博物館)、東京臨海広域防災公園(そなエリア)での視察研修を実施しました。

研修で得た知識・刺激を、残り僅かとなった初任科生活に生かしてくれることを期待します。



総務省消防庁では、宮崎市消防局から派遣されている 川野 知行事務官に消防庁の仕事について話を聞きました。



中央は日南市出身の隊員です。  
(倉永副士長)



★ 9月の主な行事予定

- 9月 3日(月) 宮崎県防災救急航空隊視察
- 9月 4日(火) 査察研修(宮崎イオンモール)
- 9月 5日(水) 宮崎県警察学校交流会 (消防学校)
- 9月 14日(金) 昇任試験 2次(消防学校)
- 9月 28日(金) 初任科卒業式

宮崎県消防学校  
担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)  
電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475  
E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp